



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 もしもしホットライン  
コード番号 4708 URL <http://www.moshimoshi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹野 秀昭

問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 和田 謙司

TEL 03-5351-7200

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	24,155	25.7	2,193	19.4	2,224	18.5	1,228	35.7
23年3月期第1四半期	19,211	9.7	1,836	36.0	1,878	34.8	905	14.9

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 1,219百万円 (42.9%) 23年3月期第1四半期 853百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	35.66	35.65
23年3月期第1四半期	26.29	26.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	46,128	34,242	74.2	993.69
23年3月期	46,569	34,057	73.1	988.31

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 34,242百万円 23年3月期 34,057百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	26.00	—	30.00	56.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	27.00	—	13.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期(予想)の配当金については、平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の年間配当額は53円00銭(第2四半期末27円00銭、期末26円00銭)となります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	44,000	14.9	3,470	△0.8	3,500	△2.3	1,890	0.8	54.85
通期	83,800	1.9	6,380	△7.4	6,450	△8.6	3,600	△5.5	52.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成23年10月1日を効力発生日とする普通株式1株を2株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計)54円85銭、通期104円47銭となります。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期1Q	34,751,520 株	23年3月期	34,751,520 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	290,996 株	23年3月期	290,996 株
----------	-----------	--------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期1Q	34,460,524 株	23年3月期1Q	34,442,814 株
----------	--------------	----------	--------------

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) 重要な後発事象 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の国内経済は、東日本大震災による供給制約や電力不足、消費マインドの悪化により大きく落ち込んだあと、徐々に回復傾向にはあるものの、当四半期を通しては停滞感強く推移しました。

当社グループが提供するBPO (Business Process Outsourcing) サービスにおきましては、一部大手企業では内製していた顧客サービス部門のアウトソーシング化を図るなど、コスト構造の改革を推進する動きはみられ、また近年当社グループの業績を圧迫してきた一部直接雇用化に伴う金融向け売上高の減少についても、前年度第4四半期と同レベルを維持するなど下げ止まり感が始まっているものの、国内経済の先行き不透明感や消費マインドの悪化を受けて、継続性業務の需要は総じて停滞気味に推移しました。

しかしながら、近年受託規模が膨らんでいる大型官公庁向け業務においては、前年度第4四半期から売上高に貢献し始めた業務がその遂行体制の軌道化に伴い、売上高が一段の拡大を見せたほか、新たなスポット業務も加わりました。また、昨年6月に株式取得した㈱ヴィクシア、同じく10月に取得した㈱ウィテラスがそれぞれ売上に貢献、更には前年度下期から業務受託地域が拡大した㈱アイヴィジットの売上高も拡大したことから、当第1四半期の連結売上高は24,155百万円(前年同期比25.7%増)と大きく増加しました。

収益面におきましては、通信向けアウトバウンドや金融向け業務の縮小がマイナス寄与となっているものの、大型官公庁向け業務の受託規模拡大や近年受託を開始した業務の一部黒字化に加え、販売費及び一般管理費の抑制にも努めたことから、同連結経常利益は2,224百万円(同18.5%増)と増加、また同連結純利益は前年同期に特別損失として計上した資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額がなくなったことに伴い、1,228百万円(同35.7%増)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① テレマーケティング事業

インバウンドサービスは、既存の継続性業務において大きな変化はなかったものの、新規獲得業務や前年度第4四半期から売上貢献が始まった大型スポット業務、また前年10月に株式取得を行った㈱ウィテラスの売上高が加わったことで、大きく増加しました。以上の結果、同サービスの連結売上高は10,824百万円(同14.3%増)となりました。

アウトバウンドサービスは、通信向けプロモーション業務の選別受注強化や震災による自粛ムードを受けた稼働の減少により、同サービスの連結売上高は1,962百万円(同10.5%減)となりました。

テレマーケティング関連サービスは、金融向けの一部業務において直接雇用化の影響が残ったものの、前年度第4四半期から本格的な売上計上が始まった大型官公庁向け業務が軌道に乗ったことから、同業務向け売上高が一段の拡大を見せました。以上の結果、同サービスの連結売上高は8,866百万円(同51.3%増)となりました。

#### ② フィールドオペレーション事業

現地に赴いてサービスを行う訪問型営業支援業務において、前年度下期から業務受託地域が拡大したことから、売上高が大きく増加しました。以上の結果、同事業の売上高は2,368百万円(同40.7%増)となりました。

#### ③ その他

前年同期において計上されていなかった㈱ヴィクシアの売上高が加わったことから同部門の売上高は132百万円(同85.1倍)となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、46,128百万円となり、前連結会計年度末比441百万円の減少となりました。これは売上債権の回収等により増加した現金及び預金を、法人税等の支払に充当したこと等によるものです。

負債は11,885百万円となり、前連結会計年度末比627百万円の減少となりました。これは法人税等の支払を行ったことによるものです。

なお、純資産は34,242百万円となり、自己資本比率は74.2%となり、前連結会計年度末から1.1ポイント増加しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきまして修正はありません。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,244,215	10,332,617
売掛金	10,563,504	9,607,714
仕掛品	3,152,638	2,737,795
貯蔵品	31,852	35,839
預け金	11,000,000	12,000,000
その他	1,695,097	1,402,128
貸倒引当金	△10,996	△10,542
流動資産合計	36,676,312	36,105,552
固定資産		
有形固定資産	2,806,646	2,626,631
無形固定資産		
のれん	144,443	104,108
その他	149,130	147,279
無形固定資産合計	293,574	251,387
投資その他の資産	6,793,297	7,144,488
固定資産合計	9,893,517	10,022,507
資産合計	46,569,830	46,128,059
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,923,550	2,039,125
未払金	5,618,598	5,293,802
未払法人税等	1,989,141	906,178
賞与引当金	619,138	881,938
役員賞与引当金	37,900	9,000
資産除去債務	36,507	52,033
その他	938,679	1,359,744
流動負債合計	11,163,516	10,541,822
固定負債		
退職給付引当金	309,372	328,670
役員退職慰労引当金	42,157	42,157
資産除去債務	902,934	889,362
その他	94,214	83,068
固定負債合計	1,348,678	1,343,258
負債合計	12,512,194	11,885,081

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	998,256	998,256
資本剰余金	1,202,750	1,202,750
利益剰余金	32,573,520	32,768,426
自己株式	△592,284	△592,284
株主資本合計	34,182,242	34,377,149
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△119,957	△129,778
為替換算調整勘定	△4,648	△4,392
その他の包括利益累計額合計	△124,606	△134,171
純資産合計	34,057,636	34,242,978
負債純資産合計	46,569,830	46,128,059

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	19,211,018	24,155,127
売上原価	15,747,989	20,172,503
売上総利益	3,463,029	3,982,623
販売費及び一般管理費	1,626,899	1,789,600
営業利益	1,836,130	2,193,022
営業外収益		
受取利息	19,400	10,643
受取配当金	10,628	12,020
受取手数料	14,357	9,771
その他	2,569	2,987
営業外収益合計	46,954	35,423
営業外費用		
支払利息	52	1,374
持分法による投資損失	4,371	2,067
その他	598	403
営業外費用合計	5,022	3,845
経常利益	1,878,062	2,224,600
特別利益		
貸倒引当金戻入額	3,807	—
受取補償金	—	55,510
その他	—	0
特別利益合計	3,807	55,511
特別損失		
減損損失	294	41,403
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	271,025	—
災害による損失	—	103,489
その他	10,787	5,719
特別損失合計	282,107	150,612
税金等調整前四半期純利益	1,599,763	2,129,499
法人税、住民税及び事業税	769,869	847,571
法人税等調整額	△75,770	53,205
法人税等合計	694,098	900,776
少数株主損益調整前四半期純利益	905,664	1,228,722
四半期純利益	905,664	1,228,722



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	905,664	1,228,722
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△51,333	△9,820
為替換算調整勘定	△879	255
その他の包括利益合計	△52,213	△9,564
四半期包括利益	853,451	1,219,157
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	853,451	1,219,157
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	17,525,785	1,683,670	19,209,456	1,561	19,211,018	—	19,211,018
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	118,764	118,764	696	119,461	△119,461	—
計	17,525,785	1,802,435	19,328,221	2,258	19,330,480	△119,461	19,211,018
セグメント利益 又は損失(△)	1,926,021	△61,927	1,864,093	△28,134	1,835,958	171	1,836,130

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理等による収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報 (単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	テレマーケティング事業	フィールドオペレーション事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	21,653,386	2,368,774	24,022,161	132,965	24,155,127	—	24,155,127
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	55,263	1,636	56,899	—	56,899	△56,899	—
計	21,708,650	2,370,410	24,079,061	132,965	24,212,026	△56,899	24,155,127
セグメント利益 又は損失(△)	2,262,218	△51,297	2,210,920	△19,041	2,191,878	1,144	2,193,022

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、広告代理等による収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## (6) 重要な後発事象

該当事項はありません。